



学校だより

2020年1月17日
No.9
射水市立堀岡小学校
校長 佐藤 静香

あけまして おめでとうございます

新しい年を迎え、地域の皆様、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。旧年中は皆様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。本年も、子供たちの健やかな成長をお見守りいただけますよう、よろしく願いいたします。

8日(水)、新しい年への希望や願いを胸に、子供たちは元気に登校してきました。始業式では、しゃんと背筋を伸ばし、引き締まった表情に一人一人の子供たちのやる気が伝わってきました。

私からは、始めに新年の「目標」とその目標を達成するために実行に移すことについて話しました。以下に簡単に紹介します。



…(略)よく、新年には「目標」を立てるとか「抱負」を決めるとかいわれます。世間一般に「目標」と「抱負」とはよく似た意味で使われていますが、厳密には違いがあるのです。この違いを意識することが、目標の達成に重要なのです。

まず、「目標」ですが、一言で分かりやすく言えば「ゴール」や「到達点」のことです。「こうなりたい」という目的の到達点のことです。例えば、「今度の漢字テストで、一回で合格点をとりたい」とか「持久走記録会で学年の新記録を出したい」とか「なわ跳びで二重跳びができるようになりたい」とか、5年生さんなら来年度に向けて「今の6年生のように、下級生に信頼される優しいリーダーになりたい」といった、できるようになりたいことや目指したい姿を指します。

それに対し、「抱負」は、一言で言えば「計画」のことです。物事を達成し、「こうなりたい」と願う「目的地」にたどり着くための計画や道筋のことを指します。先ほどの例ですと、「(漢字テストを一回で合格点を取るために)漢字の練習を毎日100文字練習する」とか、「(なわ跳びで二重跳びができるようになるために)休み時間に必ず練習する」などの「実行する計画」のことを指します。5年生さんが、もし、素敵なリーダーになりたいと「目標」をもったとしたら、「抱負」は「6年生のリーダーの立派な姿を真似する」とか「下級生の気持ちを考えて、優しい言い方で話すようにする」とかの「具体的な行動(計画)」も考えられますね。

目標はあっても、行動を起こさないと、実現はしません。また、その逆にどんなに小さなことでも、続けることによって必ず成果が得られます。「継続は力なり」です。ぜひ、この新年という節目には、「目標」という「ゴール」を見据えて、「抱負」という「計画」もしっかりと持ち、実行に移して行ってほしいと思います。…

その後、各学年の代表者が新年にがんばりたいことを発表しました。どの内容も、「目標」というゴールを見据え、やり遂げるための計画である「抱負」をしっかりともっていたことに感心させられました。きっと達成してくれるものと信じます。3学期も全校、一人一人の子供たちの希望や願いが達成できるよう、教職員一同、力を合わせて取組んでまいります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

書初大会 ～心をこめて書きあげました～ 1月8日(水)

始業式の後、校内書初大会を行いました。3年生以上はだるま筆を用い、一斉に行っています。1・2年生は硬筆のため、教室で行いました。張りつめた静寂の中で書き初めに臨む姿は、真剣そのものでした。書いた後、うれしそうに作品に見入ったり、出来栄を確かめ合ったりし、練習の成果を大いに発揮できたと満足気な様子が見られました。入選に選ばれた中から以下の4名の児童が堀岡小学校の代表として県書初大会に出場します。がんばってください。



〈体育館での書き初めの様子〉

2年 加藤佑奈さん 3年 棚田芽花さん 5年 宮本結椛さん 6年 岩木舜さん

学校評価アンケート

学校の取組や教育活動を振り返り、よさをさらに伸ばすとともに改善に生かしていけるよう、2学期末も学校評価アンケートをさせていただきました。ご協力ありがとうございました。下記に本年度の3つのアクションプラン（具体的な行動目標）について報告いたします。他の項目の評価、ご意見やご要望については、別紙に掲載しました。数値は4段階評価でA「とてもそう思う」、B「だいたいそう思う」と答えた人の全体に占める割合です。

(下線は目標値80%を下回ったもの)

アクションプラン1の達成度は、1学期に比べさらに下がりました。目標値を大きく下回りました。普段の授業では、ノートやワークシートには自分の考えや思いを書くことができても、進んで発言する姿に結び付きにくい実態があります。自信をもって意見を述べるができるよう、全体での話し合いの前にペアや小グループでの話し合いの機会を設けたり、机間指導の際によさを認める声掛けをしたりするなど、粘り強い取組を継続していきたいと考えています。

アクションプラン (児童の具体的な行動目標)		達成度		※参考(アンケート や教職員評価より)	
		月	児童	保護者	教職員
<確かな学力> 学び合う子供	1 手を挙げて、1日1回以上は発言する。 【目標値80%】	7月	78%	/	44%
		12月	<u>66%</u>		<u>56%</u>
<豊かな心> 認め励まし合う子供	2 目を合わせて、自分から元気に挨拶する。 【目標値80%】	7月	83%	91%	<u>56%</u>
		12月	<u>79%</u>	83%	<u>78%</u>
<健やかな体> 鍛え合う子供	3 「みんなでチャレンジ3015」の達成を目指し、毎日運動する。【目標値80%】	7月	94%	88%	78%
		12月	91%	84%	89%

アクションプラン2では、わずかではありますが1学期より下がり、目標値を下回りました。3学期は、「目を合わせ」「自分から」「元気に」のうち、特に「自分から」に重点を置き、教師側からの指導だけでなく、児童会を中心として全校で実践していきます。

アクションプラン3は、1学期より下がりとはしたものの、目標値を上回っています。体育委員会による企画や朝活動での体力づくり等の取組により、体を動かすことの楽しさが実感できているからだと考えられます。「みんなでチャレンジ3015」は2巡目の達成者もいます。3学期は、なわ跳び運動を始めとして、校舎内でもできる運動を呼びかけ、毎日体を動かす機会をもつようにしたいと考えています。

鼓笛隊のバトンを引き継ぎました 12月24日(火)

2学期の終業式の後には鼓笛隊引き継ぎ式を行いました。6年生は、しっかりとバトンを引き継ごうと、最後の演奏に心を込めていました。その様子を真剣に見つめる3年生から5年生の様子から、その真摯な思いを受け止め、伝統のバトンを引き継いでいこうという決意が感じられました。



〈6年生の鼓笛隊、最後の演奏〉

ほんの15分足らずの短い時間でしたが、自分たちが伝統を引き継ぎ、自分たちの力で学校を創りあげていくのだという気持ちが伝わってくる素晴らしい式でした。6年生のみなさん、お疲れ様でした。そして、3年生から5年生のみなさん、よろしくお願いします。

7月の学校だよりで紹介しました海水魚の水槽ですが、残念なことにシマダイ1匹なくなりました。いろいろと調べたり相談したりしたところ、冬の水温低下が大きく影響したのではないかとのことでした。急遽、水槽用ヒーターを入れてみましたが、大きな水槽の中では焼け石に水かもしれません。いのちを預かるのは難しいものですね。たった1匹になったシマダイですが、懸命に生きています。子供たちに、いのちの「はかなさ」だけでなく、「たくましさ」も同時に教えてくれるものと思います。

